

※手術申し込み時や術直前に該当項目の有無をチェックして下さい。

- 抗凝固薬や抗血小板薬は内服しておらず、血液が止まりにくい病気はない。
- 過去に、局所浸潤麻酔（歯科で虫歯治療などのときに用いられる注射で麻酔薬を注入する方法）で、アレルギー症状がでたり、麻酔の効果がなかったことはない。
- 体内や体表に金属が埋め込まれていたり、体の広範囲に入れ墨は入っていない。
- 幼少期に何らかの精巣の手術や、これまでに単径ヘルニアの手術を受けたことはなく、精巣上体炎などの感染症になったこともない。
- 肥満はない。
- 当日、前日などに発熱がない。ご本人、ご家族で、インフルエンザやコロナ感染症などを疑う発熱症状がある人はいない。
- 陰部の剃毛は済ませている。（注：術当日の時間短縮のために、前日までに済ませておいて下さい）

手術説明用紙

- 手術： 精管結紮切除術（パイプカット手術）
- 麻酔： Madajet での麻酔液噴霧による局所麻酔
- 術式： 新術式（陶山式 NSV 法）

	新術式（陶山式 NSV 法）	従来型手術法
麻酔法	皮膚および精管に Madajet を使用して、霧状の麻酔液を噴霧	皮膚および皮下組織に複数回針を刺して、麻酔液の注入
麻酔の痛み	ごく軽度 Madajet 噴霧時に、陰囊皮膚に軽い刺激	針を刺される痛み 薬液を注入される痛み
切開	不要 陰囊の正中部に、特殊な鉗子で小さな穴を開けるのみ	陰囊皮膚に、2カ所（もしくは1カ所）メスにて1~2cm程の切開をして実施
時間	短い	NSV 法より長い
出血	ごく僅か	少量 （術中、術後出血の可能性あり）
閉創	皮膚縫合はせず、特殊な医療用接着剤（ダーマボンド）で閉創	1針ほど皮膚縫合をしますが、抜糸は不要
備考	理屈的には再交通はない 再吻合は不可能	再交通してしまう可能性はゼロではない 非常に困難だが再吻合は不可能ではない

■合併症

① 疼痛・違和感

術中は局所浸潤麻酔を行います。同じ麻酔液を同量投与しても、痛みや違和感の感じ方は個々で差があります。術後に創部の疼痛を感じる方もいます。下腹部に違和感を訴える方もいます。

② 出血や皮下出血

術中に十分な止血処置をさせていただきますが、術直後から数日後に、創部や陰嚢内で出血し、陰嚢や周囲に皮下出血や陰嚢内血腫を形成することがあり得ます。数日から数週間は腫れたり、暗紫色に変色して痛みをとまうことがあります。ほとんどの場合は自然に改善されます。

③ 創感染

術中に十分な消毒や、術前術後に抗生剤の内服は行いますが、術後に創感染や精巣上体上体炎などで発熱や痛みが生じることはあり得ます。その場合は、追加の抗生剤内服や、創感染がひどい場合は外科的処置が必要となる場合があります。

④ その他

麻酔薬や消毒液、抗生剤によるアレルギーなどの有害事象や、予期せぬ合併症が生じる場合があります。

■注意事項

① 術後の性行為

術後も精管や精嚢内に精子が残存します（体内では70日ぐらいは生存するといわれています）。したがって、術後しばらくは避妊具を使用するの性行為が必要です。

避妊具なしでの性行為は、数多くの自慰行為などで射精をしていただいた上で、2ヶ月以上経ってから行うことをお勧めします。

※当クリニックでは、術後の精液に精子が含まれていないことを確認するための精液検査を受けられることを推奨しております。詳細は術後にご説明させていただきます。

② シャワーや入浴

術当日から身体などへのシャワーは可能です（注：創部はぬらさないようにして下さい）。出血、腫れなどがなければ、翌日から創部もシャワーをかけて軽く流して洗っていただき、術後2日目より普通に入浴して頂いて問題ありません。

③ その他

揉むなど、陰嚢へ過度な物理的刺激を加えることや、血行がよくなると、出血や腫れ、痛みの増強、発熱を起こす原因となるため、手術当日の激しい運動、飲酒やサウナなどは控えて下さい。

術後に異常を感じたときなどは、創部の状態などを診察させていただきますので、ご来院をお願いいたします。

(ver. 2025年6月)

医療法人社団永晃会木戸クリニック